

## 5 - 1 田後—三国間の上下変動

### Vertical Movements between Tajiri and Mikuni Tidal Stations

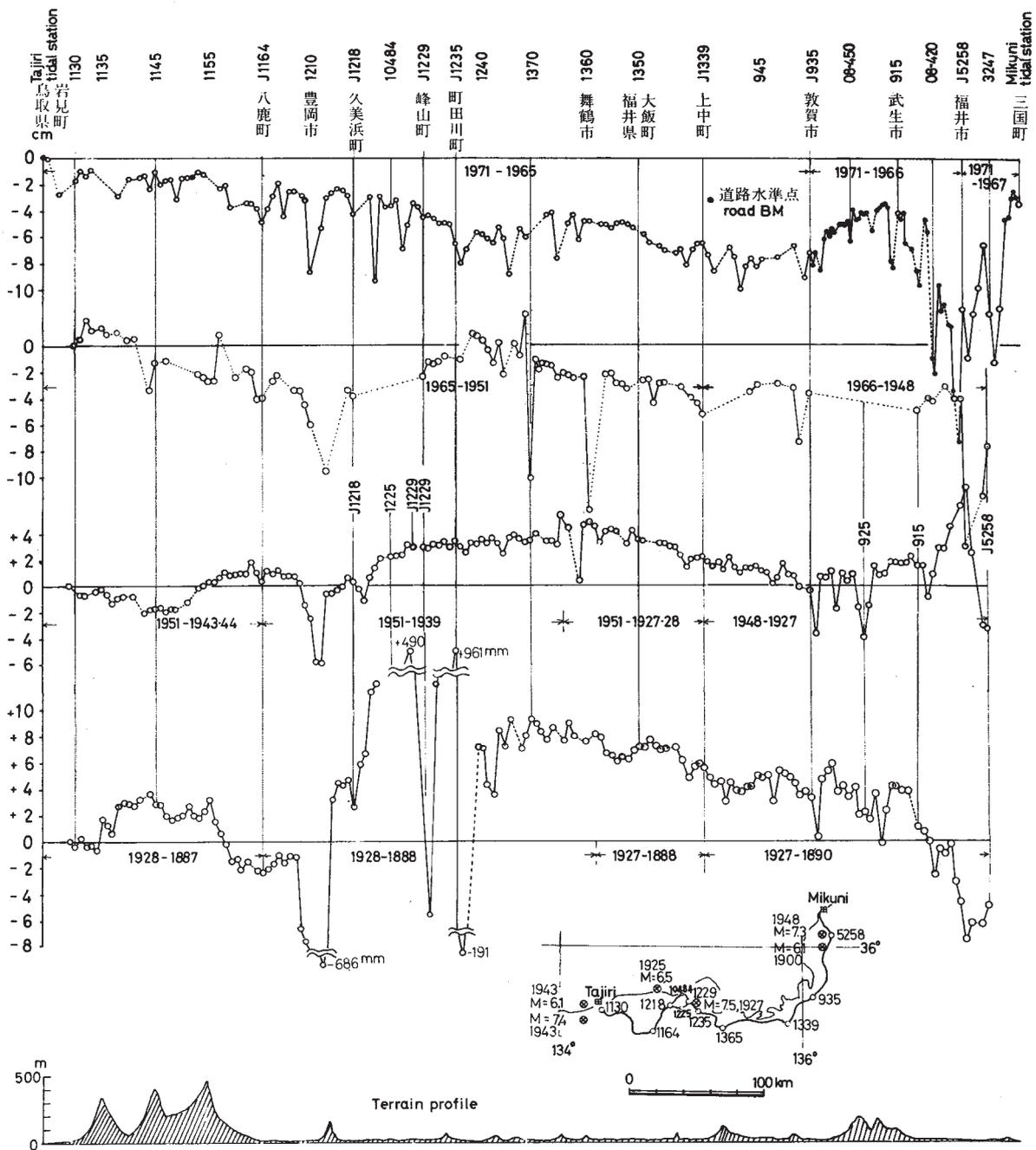
国土地理院 地殻活動調査室  
Crustal Activity Research  
Office, Geographical Survey  
Institute

田後験潮場から三国験潮場にいたる水準測量が1971年終了したのでその結果を報告する。J935から福井に進む路線は、本会報に能登半島の上下変動として報告されている。

第1図は田後験潮場から三国験潮場にいたる水準路線で明治以来の水準路線の経年変化を示したものである。顕著な変動として、1927年北丹後地震（ $\phi = 35.6^\circ$  ,  $\lambda = 135.1^\circ$  ,  $M = 7.5$ ）および福井地震（1948年,  $M=7.2$ ）の影響がみられる。なお、1925年兵庫県北部の地震（ $\phi = 35.7^\circ$  ,  $\lambda = 134.8^\circ$  ,  $M = 6.5$ ）の影響は明らかでない。

最近の豊岡市付近の異常沈下は、円山川東側付近に断層が南北に走っているので地盤沈下か地殻変動か問題であったが、その後の調査でこれらの水準点は全て旧円山川の湿地帯におかれてあり、最近では河川流の変更工事で付近が宅地化し湿地帯の乾燥による沈下と判断された（三木晴男、私信）。また、田後験潮場に相対的な沈下が敦賀市付近にみられる。

武生市（915）、福井市（J5258）付近に不規則な大きな変動がみられる。これは、敦賀市（J935）——三国験潮場間の1966年および1971年の測量が道路基準点を使ったために生じたものである。福井市付近の沈下は地盤沈下によるものと思われる。



第1図 田後—三国驗潮場間の上下変動  
Vertical movements between Tajiri  
and Mikuni tidal stations